



(公社)日本植物園協会 60 年記念シンポジウム

出版メディアとともに世界に類を見ない発展を遂げた江戸の園芸文化の魅力を、現代に受け継がれる貴重な園芸植物を継承するナショナルコレクションの取組とあわせてご紹介します。



日時

2025 年
11月23日(日・祝)
13:00 ~ 15:30

場所

東京都神代植物公園・植物会館
& Zoom ウェビナー

内容

- 第1部 江戸の園芸文化をひもどいて
- 第2部 伝統園芸植物を未来へ

参加費

無 料 ※ 会場でのご参加には神代植物公園の入園料が必要です。

申込み方法

定 員：会場 100 名、オンライン 100 名

申 込：10 月 1 日受付開始 (先着順)

お申込みはここをクリック

※パソコンやスマートフォンでの閲覧時のみ有効

<https://form.run/@jindai-event-sm-9dbCugzbIRlhut6pDFPd>



申し込み用
2次元バーコード

※ 会場参加者にはシンポジウム冊子を当日配布、オンライン参加者にはデータでお送りします。

テーマ

日本の植物園遺産―伝統園芸植物
江戸に花開いた

園芸文化

(公社)日本植物園協会 60 年記念シンポジウム

日本の植物園遺産ー伝統園芸植物「江戸に花開いた園芸文化」

プログラム

- 13:00 ~ 13:05 開会あいさつ
- 第1部** 江戸の園芸文化をひもといて
- 13:05 ~ 13:20 植物図譜にみる江戸園芸の魅力 (動画出演)
(一財)雑花園文庫庫主 小笠原左衛門尉亮軒
- 13:20 ~ 14:00 江戸の出版メディアと園芸文化
豊島区立郷土資料館学芸員 秋山伸一
- 14:00 ~ 14:30 江戸椿の歴史と魅力
(一社)日本ツバキ協会副会長 小泉不二男
- 14:30 ~ 14:45 (休憩)
- 第2部** 伝統園芸植物を未来へ
- 14:45 ~ 14:55 伝統園芸植物とナショナルコレクション
日本植物園協会ナショナルコレクション委員会委員長 古平栄一
- 14:55 ~ 15:05 神代植物公園の伝統園芸植物とその継承
神代植物公園園長 松井映樹
- 15:05 ~ 15:25 講演者対談
- 15:25 ~ 15:30 閉会あいさつ

ナビゲーター: (公社)日本植物園協会会長 西川綾子
司会: 神代植物公園 斎藤亜理沙

講演者紹介 (予定)



最初に心奪われた古書「草木錦葉集」との出会いや古書との付き合い方を語ります。

小笠原左衛門尉亮軒 (動画出演)

1933 年名古屋生まれ。(一財)雑花園文庫庫主。1957 年に名古屋園芸を創業し、現在、取締役隠居。江戸時代の将軍から庶民まで楽しんだ日本の園芸文化の資料蒐集と研究に従事。NHK 趣味の園芸講師として解説を行い、第 71 回日本放送協会放送文化賞を受賞



武家から庶民まで、江戸の園芸文化の大衆化に出版メディアがどう関わったかを考えます。

秋山伸一

1961 年神奈川県生まれ。豊島区立郷土資料館学芸員。専門分野は日本近世史、江戸の園芸史。豊島区駒込(染井)・嶋郷地域の景観や植物栽培の特徴を明らかにしていく過程で、染井の植木屋伊藤伊兵衛の業績、花名所創出の仕掛けと工夫、ソメイヨシノの誕生経緯などを研究



華麗な花が海外からも注目された江戸椿。現代に受け継がれる魅力を紹介します。

小泉不二男

1955 年茨城県生まれ。元県立高校教員(社会科)。35 歳頃白椿を見て椿の美に開眼し日本ツバキ協会に入会、1997 年同協会茨城支部を結成、2024 年より同協会副会長。江戸椿を含む椿の歴史研究と育種に取り組み、2025 年「桐野秋豊 私のツバキ人生」を刊行

公益社団法人日本植物園協会の 60 年について

日本植物園協会は、全国の植物園が加盟する団体で、昭和 22 年に任意団体として創立し、昭和 41 年(1966 年)に社団法人日本植物園協会となって以後 60 年を迎えました。平成 25 年(2013 年)には公益社団法人に移行し、全国的な植物園ネットワークを通じて、植物園や植物に関する文化の発展と科学技術の振興、自然環境の保全に貢献する事業を実施し、人類と自然が共生する豊かで持続的な社会の実現に寄与することを目的として活動しています。

ナショナルコレクション認定制度について

日本植物園協会ナショナルコレクション認定制度とは、野生種、栽培種に関わらず、日本で栽培されている文化財、遺伝資源として貴重な植物を守り後世に伝えていくことを目的とした保全システムです。希少植物や園芸品種群、歴史、文化など一定のテーマを持った植物コレクションを取り扱い、令和 7 年(2025 年)現在 23 コレクション 3466 種類が認定されています。

表面画像の解説

上段、『花くらべ』雑花園文庫所蔵の巻物の椿の図譜。題簽並に箱表書に「楽堂」の名があり、製作者と思われる。年代の記載はないが、花の図は一点一点丁寧に、しかも能筆に描かれ、全百十余種すべて品種名が書き入れられている。

下段左から、桜草花壇(江戸時代の原型を補修)、『草木錦葉集』(雑花園文庫所蔵)、染井植木屋(『絵本江戸土産』より/豊島区立郷土資料館所蔵)

東京都神代植物公園◇利用案内◇

- 開園時間 午前9時30分～午後5時 入園は午後4時まで
(大温室・水生植物園は午後4時30分まで)
- 休園日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)
年末年始(12月29日～1月1日)

入園料	個人	団体(20名以上)	年間パスポート
	一般 ¥500	¥400	¥2,500
65歳以上	¥250	¥200	¥1,250
中学生	¥200	¥160	—
無料	小学生以下及び都内在住・在学の中学生 身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳 または療育手帳持参の方と付添の方		

交通アクセス

◆電車・バスの場合

- 京王線 調布駅 中央口からバスで約15分(三鷹行・吉祥寺行又は深大寺行)
JR中央線 三鷹駅 南口からバスで約20分(調布駅北口行又は深大寺行)
中央線 井の頭線 吉祥寺駅 南口からバスで約30分(調布駅北口行又は深大寺行)

「神代植物公園」または「神代植物公園前」下車
正門まで徒歩1分です

深大寺や水生植物園へは「深大寺」下車徒歩1分
深大寺門まで徒歩4分です

◆お車の場合

中央自動車道「調布IC(新宿方面出口)」から甲州街道へ→400m



全国の植物園に関するお問合せ:

(公社)日本植物園協会事務局 電話: 03-5685-1431

参加・申込に関するお問合せ:

東京都神代植物公園 電話: 042-483-2300